

調査

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針2 日常的に楽しく身体を動かす				※食育推進計画を参照										
	1	維持管理課	公園の健康遊具の維持	使用に耐えるものについて、安全に使用できるよう維持管理し、健康増進を図る。	-	90	90	健康遊具設置台数の維持率	95%以上	100%	95%以上		A	健康遊具の台数を維持できたため。引き続き維持管理していきたい。
	2	高齢者福祉課	公園の健康遊具を活用した高齢者の健康増進事業	健康遊具を活用した健康増進とコミュニティの醸成を図るための講習会を実施する。	日本栄養大学	120	120	参加人数	60人	71人	60人		A	お通者体検等行っている介護予防への関心が高い団体へ積極的に周知活動を行ったため、目標人数を上回ることが出来た。
	3	高齢者福祉課	フレイル予防教室（運動・口腔・栄養複合、個別相談）	運動器の機能向上・口腔機能の向上・栄養改善のための講話、実技、目標設定を行う個別相談等。教室不参加者のうち、希望者に個別相談を実施。	講師：健康運動指導士、管理栄養士委託：埼玉県栄養士会、埼玉県歯科衛生士会	232	289	参加人数（延べ）	80人	64人	70人		B	計画上の目標人数には達しなかったものの、参加者については、教室に参加したことで体重、BMI等維持改善ができた。
	4	高齢者福祉課	健康貯筋のための元氣アップ講座（運動）	ストレッチ運動、筋力アップ運動、体幹を鍛える運動を行う。	委託：セントラルスポーツ(株)	924	4,158	参加人数（延べ）	240人	262人	1000人		A	参加人数が目標値を上回った。引き続き、市民の方への周知を図る。
	5	スポーツ推進課	坂戸市民スポーツフェスティバル	市民体育祭総合開会式を開催し、優秀個人・団体へスポーツ表彰を行う。また、スポーツ・レクリエーションの普及促進や、生涯スポーツのきっかけづくりを目的に、 スポーツ協会 、レクリエーションスポーツ協会の加盟団体及び関係団体がアトラクションや体験コーナーを設置する。	-	1125	1,000	参加者数	5,000人	6,907人	7,000人		A	十分達成できた。 令和6年度に比べ、参加者が2,392人増加した。今後は、各団体の参加者を増やすため、開催方法を検討していく。
	6	スポーツ推進課	坂戸市民チャリティマラソン	坂戸市民チャリティマラソン実行委員会、 坂戸市陸上競技協会 が主管となり、子ども駅伝、 1・3km 親子マラソン、3kmマラソン、5kmマラソン、10kmマラソンを行う。	-	2200	2,000	申込者数	1,800人	1,878人	2,000人		A	十分達成できた。 今後、より申込者数を増やすため、大会コース及び開催方法を検討していく。
	7	スポーツ推進課	坂戸市ラケットテニス大会	坂戸市スポーツ推進委員が主管となり、坂戸市在住・在勤・在学者及び中学生以上の複式テニス・ソフトテニス等の経験者のチームを対象とするラケットテニス大会を行う。	-	24	0	参加チーム	24チーム	18チーム	0%		B	おおむね達成できた。 令和6年度と参加チーム数は同数であるが、目標数に達しなかったため、今後の開催方法を検討していく。なお、令和8年度に関しては、大会会場が工事中のため、開催しない。
	8	市民健康センター	ALK00マイレージ事業	参加者は専用のスマートフォンアプリを使って歩数を測定する。歩数に応じて参加者にポイントが付与し、ポイントに応じて抽選のうえ当選者に景品を送付する。また、坂戸市独自のインセンティブとして坂戸市民限定抽選会や健康講座を実施する。	ウェルシア薬局(株)・ハウスフェルネスフズ(株)・明治安田生命保険相互会社川越支社	1,493	1,288	参加者数	2,100人	1,872人	2,000人		B	目標値は下回ったが、概ね達成できた。引き続き、市民への周知を図り、市民の健康増進に努めていきたい。
	9	市民健康センター	みんなで健康マイスター事業	主体的に健康づくりを行う実践者を増やすために、地域での健康講座の開催を通してみんなで健康マイスターを養成する。本市の健康づくり市民ポスター「元気にし隊」を中心とした健康づくり活動を地域で展開し、自らの生活習慣の改善を行う者を増やす。	市民ボランティア「元気にし隊」	60	60	健康いきいき講座受講後、理解できたと思った方の割合	90%以上	100%	95%以上		A	講義だけでなく、運動の実践講習なども行い、目標値を上回ることができた。
	10	千代田児童センター	3B体操	ベルター・ボール・ベルを使い、親子で楽しみながら身体を動かす。	-	7	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	11	千代田児童センター	親子でダンス	音楽に合わせて親子で体を動かして遊ぶ。	-	7	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	12	大家児童センター	3B体操	ベルター・ボール・ベルを使い、親子で楽しみながら身体を動かす。	-	7	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	13	大家児童センター	エアロビクス	ダンス形式の有酸素運動	-	7	7	開催回数	2回	2回	2回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	14	大家児童センター	親子でダンス	音楽に合わせて親子で体を動かして遊ぶ。	-	4	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	15	三芳野児童センター	3Bジュニアダンスクラブ	登録制のクラブで年間18回実施予定。ベルター・ボール・ベルを使い、遊びの要素を取り入れた運動で、団体演技としても楽しむことができる。	-	14	14	開催回数	16回	0回	10回		D	クラブ員募集の段階で最低人数の8名に達しなかったため、クラブの実施ができなかった。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

調査

資料2

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針2 日常的に楽しく身体を動かす	16	三芳野児童センター	親子でダンス	音楽に合わせて親子で体を動かして遊ぶ。	-	4	4	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	17	三芳野児童センター	3B体操	ベルト・ボール・ペルを使い、親子で楽しみながら身体を動かす。	-	7	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	18	坂戸児童センター	3B体操	ベルト・ボール・ペルを使い、親子で楽しみながら身体を動かす。	-	7	7	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	19	坂戸児童センター	親子でダンス	音楽に合わせて親子で体を動かして遊ぶ。	-	4	4	開催回数	1回	1回	1回		A	親子ともに身体を動かし、楽しい時間を過ごした。
	20	入西地域交流センター	ピラティス教室	簡単なストレッチからピラティスの基本を習得する。	-	16	16	出席率	70%	88%	70%		B	全3回の教室で、出席率が良かった。人気の講座であり、継続予定。
	21	北坂戸地域交流センター	御朱印ウォーク	楽しみながらウォーキングをして健康増進を図るとともに、参加者相互の交流と親睦を図ることを目的とする。	-	0	0	参加者数	10名以上	13名	10名以上		A	目標を達成することができた。また、中距離かつ川縁の歴史に触れながらウォーキングを実施することができた。今後はコースを拡大していきたい。
	22	城山地域交流センター	みんなでラジオ体操	誰もが気軽に始められる運動「ラジオ体操」を平日毎日実施することにより意識的に健康増進に取り組める環境を整備するとともに、参加者相互の交流・親睦を深める。	-	—	—	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		A	平日毎日実施し、日常的に取り組むことにより、健康意識を高めることに繋がった。今後も継続し、健康増進を図りたい。
	23	浅羽野地域交流センター	健康ウォ・キング	ウォ・キングを通じ、健康増進を図る。	-	0	0	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		A	雨天による中止を除き、毎月実施することができた。今後についても引き続き、定期的に運動する機会を設けていきたい。
	24	浅羽野地域交流センター	ストレッチ教室	誰でもできる簡単なストレッチで腰痛、肩こり、目の疲れなどの解消を目指す。	-	11	11	-	設定なし	設定なし	設定なし		A	定員を超える申込みがあった。全3回の講座で内容も参加者からは好評であった。人気の講座のため今後も継続予定。
	25	千代田地域交流センター	健康ウォ・キング	ウォ・キングを通じて健康の増進を図る	-	0	0	参加者数	各回10人以上	各回平均13人	各回10人以上		A	延べ出席者数115人÷開催回数9回＝12.7人
	26	大家地域交流センター	健康ウォ・キング教室	健康ウォ・キングを通じて健康の増進を図るとともに、高齢者の地域参加を促す。 交流センター周辺から複数コースを定め、人数・参加者の経験に応じて選定する。	-	0	0	参加者数	100人	95人	100人		B	新規加入者を増やすため、交流センターだよりやホームページ等で参加者を広く募集した。参加者増となるよう募集を継続していく。
	27	城山地域交流センター	しろやま健康ウォ・キング	高麗川周辺の自然を楽しみながら、ウォ・キングを通じて健康増進を図るとともに、参加者相互の交流・親睦を深める。	-	—	—	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		A	ウォーキングを通じて健康増進を図り、参加者の交流・親睦を深め実施した。季節を感じながらのウォーキングを楽しみにしている方々もいるので、今後も継続していく。
	28	千代田地域交流センター	ゴールデンエイジ「子どもの運動能力向上教室」	神経系が発達しやすい時期で、動きの巧みさが身に付きやすいと言われる「ゴールデンエイジ（9～12歳）」を対象に運動教室を開催し、様々な動きやトレーニングを体験させることで、子どもの運動能力を向上させることを目的とする。	-	56	42	参加者数	20人	66人	60人		A	実績値66人÷20人＝330%
	29	千代田地域交流センター	フラダンス教室	全3回の講座でフラダンスの基礎を楽しく学ぶ。	-	21	—	参加者数	25人	15人	—		C	実績値15人÷25人＝60% R8は開催予定なし
	30	千代田地域交流センター	かけっこ教室	小学生を対象に、速く走るためのコツやポイントを教えてもらい、子どもたちの体力向上を目指す。	-	21	—	参加者数	35人	—	—		D	諸般の事情により開催を断念した。 R8は開催予定なし。
	31	三芳野地域交流センター	癒しのヨーガ	ゆったりしたヨーガで心と体をリフレッシュする。	-	15	15	出席率	95%以上	90%	95%以上		B	概ね目標達成できた。

調査

【評価】
A：十分達成できた(100%)
B：概ね達成できた(70%以上)
C：やや不十分である(50%以上)
D：不十分である(50%未満)
-：評価指標設定なし、評価不能、未実施等

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針3 自分自身の身体をいたわる	32	市民健康センター健康保険課 (※市民健康センター回答)	特定健康診査・特定保健指導	①特定健康診査 【基本検査項目】内科診察、血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測、聴力検査(65歳以上)等 【希望者が行える検査項目】心電図検査 【該当者が行う検査項目】眼底検査・心電図検査 ②特定保健指導 特定健康診査の結果、必要者に行う保健指導	坂戸鶴ヶ島医師会・ 入間地区医師会・ ウェルシア薬局株式会社	83,262	78,612	特定健康診査受診率 及び特定保健指導実施率	特定健康診査受診率：48.0%、特定保健指導実施率：20.0%	特定健康診査受診率：39.4%、特定保健指導実施率：17.9%	特定健康診査受診率：51.0%、特定保健指導実施率：30.0%		B	特定健康診査受診率は前年度と比較し、約1%減少しているため、引き続き受診率向上のため、対策を検討していく。 特定保健指導実施率は前年度より約5%向上したため、未利用者への勧奨について、さらなる強化に努めたい。
	33	市民健康センター	健康診査（後期高齢者医療制度加入者）	【基本検査項目】内科診察、血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測、聴力検査等 【希望者・該当者が行う検査項目】心電図検査	坂戸鶴ヶ島医師会・ 入間地区医師会	71,024	80,563	健康診査受診率	42%	39%	42%		B	引き続き受診率の向上のため、受診勧奨等を実施していく。
	34	市民健康センター健康保険課 (※市民健康センター回答)	糖尿病性腎症重症化予防対策事業	特定健康診査や医療機関受診状況を分析し、糖尿病性腎症の重症化を予防する。	坂戸鶴ヶ島医師会・ 埼玉県国保連合会	6,053	6,053	実施者数	90人	93人	90人		A	鶴ヶ島市との相互乗り入れを実施しており、目標値を上回り実施できた。
	35	市民健康センター	健康診査	【基本検査項目】内科診察、血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測等 【希望者・該当者が行う検査項目】心電図検査	坂戸鶴ヶ島医師会・ 入間地区医師会	895	999	受診率	20%	14%	20%		B	目標値には届かなかったため、引き続き受診率の向上に努める。
	36	市民健康センター	胃がん・肺がん・結核検診	胃がん検診（個別）：胃内視鏡検査 胃がん検診（集団）：胃部X線検査 肺がん・結核検診（集団・個別）：①胸部X線検査 ②喀たん検査 ②は対象者のみ実施	坂戸鶴ヶ島医師会	19,316	22,366	受診率	肺がん・結核検診：7%	5%	肺がん・結核検診：7%		B	目標値には届かなかったため、引き続き受診率の向上に努める。前年度までは胸部X線検査と喀痰検査の実施であったが、今年度からは胸部X線検査のみの検診となる。
	37	市民健康センター	乳がん検診	視触診、マンモグラフィ(乳房X線撮影)	坂戸鶴ヶ島医師会	9,948	10,008	受診者数	1,400人	1,326人	1,400人		B	目標値まで僅かであり、引き続き受診者数向上に努める。
	38	市民健康センター	大腸がん検診	免疫便潜血検査(2日法)	坂戸鶴ヶ島医師会・ 入間地区医師会	18,113	18,273	受診率	12%	10%	12%		B	受診率は横ばいとなりっており、新たに40歳を迎える方へのアプローチ方法を検討する必要がある。
	39	市民健康センター	骨密度検診	骨塩量の測定(DXA法)	-	1,923	1,890	受診率	20	21%	20%		A	目標値を上回り実施することができた。今後も受診率向上に努める。
	40	市民健康センター	子宮頸がん検診	内診、細胞診	坂戸鶴ヶ島医師会	8,303	8,501	受診者数	1,480人	1,305人	1,480人		B	目標値には届かなかったため、引き続き受診率の向上に努める。
	41	市民健康センター	医師の講話（骨密度アップ講座）	骨粗しょう症について、医師が正しい知識を提供し、市民が予防と早期発見・治療につなげる。	坂戸鶴ヶ島医師会	40	40	受講者数	50人	43人	50人		B	骨粗しょう症の予防や早期発見・早期治療につなげるため、周知・広報に努め、参加者数の増加に努める。
	42	市民健康センター	健康相談・訪問指導	市民の健康づくりを支援するため、来所・訪問・電話等による健康相談に応ずる。	-	3,688	3,756	利用者数	3,800人	3,379人	3,800人		B	今後も、相談窓口の普及啓発に努めていく。
	43	市民健康センター	慢性腎臓病予防講演会	専門医、栄養士等による講演会を実施し、腎機能の指標であるクレアチニン値の普及啓発に努めることで、慢性腎臓病の予防を図り、人工透析治療への移行時期の延伸を通して医療費支出の抑制をめざす。	日本栄養大学	62	55	受講者数	100人	90人	100人		B	引き続き、講演会を実施し、市民の医療費支出の抑制を図る。
	44	市民健康センター	慢性腎臓病の食事教室	腎機能を低下させない生活習慣について、講義を通して、理解を深める機会とする。	日本栄養大学	30	30	受講者数	60人	58人	60人		B	引き続き、食事教室を実施し、市民が慢性腎臓病の予防に関する理解を深める機会を提供する。
	45	市民健康センター	①こころの健康相談・専門相談 ②保健師による相談 ③こころの体温計 ④ゲートキーパー養成講座	①精神科医師、保健師による、こころの健康相談、専門相談を実施する。 ②インターネットを用いて市民が簡単に精神面に関する自己確認ができる「こころの体温計」を提供する。 ③H31.3月に策定した「坂戸市のちを支える自殺対策計画」の基本施策に基づき、「自殺対策を支える人材の育成」を行う。	①坂戸鶴ヶ島医師会	266	268	精神保健相談利用者数(延人数) ①②④ ③設定なし	120人 (①②④) ③設定なし	346人	120人 (①②④) ③設定なし		A	引き続き、悩んでいる方やその家族等を対象に相談を受けるともに、困っている人の命をつなげるため、ゲートキーパーの養成を図る。
	46	市民健康センター	1歳6か月児健診	身体計測、内科・歯科診察、保健・栄養・歯科保健指導（栄養、歯科指導は希望者のみ）、未受診者の把握	坂戸鶴ヶ島医師会・ 歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会	2,687	2,707	受診率	90%以上	93%	90%以上		A	目標値を上回ることができた。 今後も引き続き健診受診の必要性を周知していく。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

調査

資料2

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針3 自分自身の身体をいたわる	47	市民健康センター	2歳児歯科健診	唾液検査、身体計測、歯科診察、保健・栄養・歯科保健指導（栄養、歯科指導は希望者のみ）、未受診者の把握	坂戸鶴ヶ島歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会	2,879	1,637	受診率	90%以上	88%	90%以上		B	目標値を下回ったが、医療機関で個別受診している児もいる。今後も引き続き集団健診の利点について周知していく。
	48	市民健康センター	3歳児健診	身体計測、尿検査、視聴覚検査、眼の屈折検査、内科・歯科診察、保健・栄養・歯科保健指導（栄養、歯科指導は希望者のみ）、未受診者の把握	坂戸鶴ヶ島医師会・歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会	2,916	2,999	受診率	90%以上	92%	90%以上		A	目標値を上回ることができた。今後も引き続き健診受診の必要性を周知していく。
	49	市民健康センター	18か月児健康相談会	身体計測、保健・栄養・母乳・歯科保健指導（栄養、歯科指導は希望者のみ）	-	382	378	未所率	80%	84%	80%		B	目標値を下回ったが、医療機関で個別受診している児もいる。今後も引き続き集団健診の利点について周知していく。
	50	市民健康センター	乳幼児健康相談	身体測定、保健・栄養・母乳・歯科相談（希望者）	-	159	157	設定なし	設定なし	130人	設定なし		A	R7年度から予約なしで実施し、相談者の利便性を向上させた。
	51	市民健康センター	ババママ講座	安定した気持ちで出産・育児ができるよう知識や技術を習得することを目的として実施。母親とともに父親の育児参加を意識付けるためのアドバイスを取り入れ、父親の参加を促す。	坂戸鶴ヶ島歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会	202	217	①受講者数 ②歯科健診受診者数	①年間90組 ②年間30組	①68組 ②20組	①年間90組 ②年間30組		B	参加者数は目標値に達していないが、アンケートの満足度も高く、妊婦とその末に對して知識を深める場として重要と考える。引き続き、安心して妊婦中から産後を過ごせるように教室を実施していく。
基本方針4 歯を大切に	※歯科口腔保健推進計画を参照													
基本方針5 自分らしく生き生きチャレンジする	52	市民生活課	市民活動フェア	市民活動団体の活動発表や活動体験など市民が市民活動に直接触れられるイベントを実施する。	城西大学現代政策学部	30	30	参加者	2,100人	1,021人	1,500人		D	市民活動フェアを開催し、市民活動団体の活動内容を周知するとともに、クイズラリー等を通じて市民と団体との交流ができたが、より多くの市民の関心が高まるよう、広報手法や企画内容を見直し、事業運営に努める。
	53	社会教育課	さかど市民塾	市民が講師になることにより「教えることは2度学ぶこと」を実践し、講師が「教える生きがい」を持ちながら、併せて市民の学習機会を創造することを目的として、講座を実施する。	-	0	0	さかど市民塾の開講講座数	30講座	30講座	32講座		A	計画通りに達成することができました。開講講座を増やし、市民の学習機会を増やすよう引き続き実施していく。
	54	市民生活課	公益活動団体申請制度	市内で活動する公益活動団体の申請を受け、団体の情報発信や活動の場の提供など必要な支援を実施する。	-	0	0	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		D	令和7年度は公益活動団体の申請が件数であった。既存団体においても、高齢化による人員不足等の課題を抱えており、新規団体の設立に要請しているため、市民活動の周知や団体と市民の交流機会の充実を図り、新たな公益活動団体の設立につなげる。
	55	高齢者福祉課	高齢者ゲートボール大会	ゲートボール大会を開催し、健康の増進を図り、もって相互の友愛を深めることを目的として実施する。	坂戸市老人クラブ連合会	25	25	参加人数	60人	43人	80人		B	事前申し込みの段階で申込人数が目標値を下回り、更に体調不良等による当日欠席が多く発生した。老人クラブ等の市民団体への呼びかけ、広報・HPへ掲載を通じ周知を図る。
	56	高齢者福祉課	高齢者グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ大会を開催し、健康の増進を図り、もって相互の友愛を深めることを目的として実施する。	坂戸市老人クラブ連合会	20	20	参加人数	200人	167人	230人		B	事前申し込みの段階では目標値を上回る人数の申込があったが、体調不良による当日欠席が多く発生した。老人クラブ等の市民団体への呼びかけ、広報・HPへ掲載を通じ周知を図る。
	57	高齢者福祉課	高齢者歌謡ショー	高齢者歌謡ショーを開催し、健康の増進を図り、もって相互の友愛を深めることを目的として実施する。	坂戸市老人クラブ連合会	10	10	参加人数	60組	59組	60組		B	事前申し込みの段階では目標値を上回る人数の申込があったが、体調不良による当日欠席が多く発生した。老人クラブ等の市民団体への呼びかけ、広報・HPへ掲載を通じ周知を図る。
	58	高齢者福祉課	おれんじカフェ	認知症についての正しい知識の普及や集える場の提供を目的としておれんじカフェを開催する。	地域包括支援センター等	200	200	設置数	19か所	18か所	20か所		B	計画値には及びませんでした。設置数を概ね維持できた。引き続きおれんじカフェの周知啓発を行い、誰もが集える場所として開催していく。
	59	高齢者福祉課	いきいき高齢者認定	地域で活動されている高齢者や市民の模範となる高齢者を「いきいき高齢者」として認定することにより、市内の高齢者に生きがいを持ち、長く健康で生活していただくことを目的に実施する。	-	16	15	認定者数	15人	9人	15人		C	被推薦者の人数が目標値を下回ったため。被推薦者の多くが老人クラブ関係者のため、一般市民やその他高齢者活動団体への周知を図る。
	60	入西地域交流センター	入西ゆうゆう大学（高齢者大学）	これからの生活を豊かに過ごすため、学習を通じて積極的な社会参加と相互の親睦を図る。	-	25	32	出席率	50%	55%	50%		A	参加者の高齢化が進み、内容によって参加人数に開きがある。内容を工夫し、継続していく。
	61	入西地域交流センター	うたごえサロン”にじ”	ピアノ演奏による合唱を楽しむことで、住民の交流を図る。	-	0	0	参加者	600人	450人	600人		B	人気の事業なので、今後も工夫を凝らし、継続していく。
	62	中央地域交流センター	高齢者大学（坂戸にこにこ大学）	高齢者が学びながら生きがいのある毎日を過ごす事と、仲間づくりを目的として実施する。	-	216	235	出席率	88%	86%	88%		B	概ね目標値の達成はできた。欠席者の多くは学習意欲はあるが、当日の体調不良や、通院等が主な原因であり、対処が難しい。ただし、一番出席率が低い社会学は内容や場所に関する点もあるため、内容・移動時間を考慮し、計画をたて、出席率の向上に努める。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

調査

資料2

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針5 自分らしく生き生きチャレンジする	63	三芳野地域交流センター	三芳野大学（高齢者学級）	高齢者の生きがいと教養を高めるとともに相互の理解を深める。	-	25	30	出席率	70%以上	59%	70%以上		B	受講生の出席者数が半数以下となってしまった回があった。今後は講座内容等も見直していきたい。
	64	勝呂地域交流センター	住吉大学（高齢者学級）	生きがいのある豊かな生活を送るために教養、健康等を学習するとともに仲間づくりを促進する。	-	371	239	出席率	70%	68%	70%		B	受講生から聞き取りを行い、ニーズに沿った講座計画をする必要がある。
	65	勝呂地域交流センター	カラオケのど自慢in勝呂	カラオケのど自慢を開催し、地域住民の交流の場を提供	-	70	0	参加者数	20人	中止	なし		-	令和7年度は選挙のため中止。参加人数は減少傾向にあり、令和8年度は予算化せず。
	66	大家地域交流センター	高齢者大学（八千代大学）	心豊かに楽しく過ごすため、教養、健康、郷土等について学習するとともに受講生相互の親睦を図る。	-	56	56	出席率	65%	62%	65%		B	高齢者の興味がある講座を実施し、受講生の出席率が高まるよう図った。
	67	北坂戸地域交流センター	北坂戸寿大学（高齢者大学）	生きがいのある充実した生活を送るため、教養、健康、郷土等の学習を通して、仲間づくりや地域社会への参加促進を目的とする。	-	73	73	出席率	71%	85%	70%		A	目標を達成することができた。今後も参加したくなるような講座を実施していく。
	68	城山地域交流センター	高齢者大学（城山大学）	高齢者が講座をとおして教養、健康について学習するとともに、参加者相互の交流・親睦を図る。	〈令和7年度〉行政書士、武蔵丘短期大学、城西大学、全米NLPトレーナー、明治安田生命 等 等〈令和8年度〉中教き屋、消費生活コンサルタント、城西大学、神埼玉第一興商、神明治等	72	72	出席率	70%	83%	70%		A	高齢者が講座をとおして、教養、健康について学習し、更に参加者の交流・親睦を図ることができた。学びの場でもある「高齢者大学」なので健康についても触れ、今後も継続していく。
	69	城山地域交流センター	しろやま歌謡祭	歌を歌うことを通じて健康増進を図るとともに、仲間づくりや地域社会への参加を促進する。	-	92	92	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	仲間と歌うことにより親睦を深め、健康増進の糧となった。歌謡祭を楽しみにしている方が多いため今後も実施する予定である。
	70	浅羽野地域交流センター	かるかや大学・浅羽野	高齢者が学びながら生きがいのある毎日過ごすことと、仲間づくりを目的とする。	-	55	59	出席率	80%以上	85%	80%以上		A	毎年出席率、リポート率が高く、受講者からも好評である。今後についても評判の良い講座を残しつつ、改良に努めていきたい。
人と人がふれあう機会をつくる	71	千代田地域交流センター	高齢者大学（千代田大学）	心身ともに健康で、より充実した生活送れるよう各種知識の習得をする。	-	150	163	年間出席率	85%	82%	85%		B	延べ出席者数236人÷8回＝29.5人 29.5人÷36人＝81.9% 81.9÷85＝96.3%
	72	千代田地域交流センター	ちよだ女性セミナー	暮らしに役立つ基礎知識の習得と教養を高め受講者の親睦を図り心身ともに健康で過ごせるよう学ぶ	-	171	191	年間出席率	85%	78%	85%		B	延べ出席者数243人÷8回＝30.3人 30.3人÷39人＝77.7% 77.7÷85＝91.4%
	73	市民生活課	コミュニティづくり推進事業	住みよい地域社会を形成するため、各種コミュニティ活動を推進・支援し、コミュニティ意識の高揚を図る。 ①市が認めるコミュニティ組織が行うコミュニティ活動に必要な設備(備品)の整備に関して、市を通じてコミュニティ組織へ助成する。 ②身近なところで、住みよい地域社会実現のための活動を続けている個人や団体に「さつき賞」を贈呈し、その活動と功績を顕彰する。	-	①2500 ②34	①2300 ②36	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	①区・自治会に対し、コミュニティ活動に必要な備品を整備することで、地域のコミュニティ活動の充実を図った。 ②表彰式を行い「さつき賞」を贈呈することで、その活動を広く周知し、地域活動への参加意欲やコミュニティ意識の向上に努めた。
	74	商工労政課	さかど産業まつり	市内商工業振興を目的に、10月に坂戸市文化会館大駐車場にて開催する。	事業者	500(補助金)	800(補助金)	来場者数	5,000人	約4,000人	5,000人		B	目標値を概ね達成することができた。来場者数をさらに増加させるため、今後の方向性を商工会で検討していく。
	75	商工労政課	坂戸にっさい桜まつり	市内観光振興を目的に、3月に北浅羽桜壇公園にて開催する。	-	12,559	12,413	観光入込数	40,000人	90,000人	50,000人		A	目標値を達成することができた。今後も、桜の開花時期を考慮しつつ、まつり開催期間を検討する。
基本方針6 基本方針7 健康を支える環境	76	商工労政課	坂戸よさこい	商工業の振興及び地域・世代を超えた交流の場の創出等を目的に、10月に坂戸市文化会館及び坂戸中央図書館周辺の県道・市道等にて実施する。	-	10,000(補助金)	10,000(補助金)	観光入込数	50,000人	50,000人	50,000人		A	目標値を達成することができた。今後は、実行委員会で開催規模を検討する。
	77	三芳野地域交流センター	三芳野地区親睦健康麻雀大会※市制施行50周年記念三芳野地区親睦健康麻雀大会(令和8年度)	「飲まない、吸わない、賭けない」を基本とする初心者健康麻雀講座を開催し、参加者の交流を図る。	-	0	0	出席率	95%以上	100%	100%以上		A	参加者に好評だった。令和8年度は市制施行50周年記念事業として実施予定。
	78	高齢者福祉課	介護予防講座(兼介護予防サポーターフォローアップ講座)	介護予防サポーター養成講座の修了者に対し、介護予防の知識を学ぶ場を提供し、スキルアップを図る。	講師調整中	30	30	参加人数(延べ)	50人	50人	88人		A	目標値に達することができ、介護予防サポーターのスキルアップ、一般市民の知識も深まり、介護予防意識が行えたため。
	79	高齢者福祉課	介護予防サポーター養成講座	重錘バンドによる体操を広く地域の高齢者に周知し、地域においてもその活動を自主的・継続的に実施していけるよう、実践の船頭となる介護予防サポーターの育成を行う。	委託(公社)埼玉県理学療法士会	420	420	養成人数	12人	10人	20人		B	目標値には達しなかったが、1人1人のサポートを丁寧に実施できた。
	80	高齢者福祉課	地域介護予防自主グループ交流会	介護予防活動自主グループ同士でグループワークを行い、互いの良いところや活動を継続するための取組を共有する。	委託(公社)埼玉県理学療法士会	30	30	参加人数	50人	28人	45人		C	目標値には達しなかった。参加者を多く募る周知を行う。

調査

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市健康増進計画

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針7 みんなで健康を支える環境をつくる	81	環境政策課	市民ボランティア花壇	市が設置する市民花壇に花苗を配布し、各地域ボランティアが花壇の管理を行う。	-	2,866	2,557	市民花壇数	51箇所	45箇所	45箇所		B	高齢化等により、管理団体の維持が困難になり、市民花壇数も減少している。今後も団体数・花壇数の減少が予想されるが、可能な範囲において団体に對するサポートを継続する。
	82	環境政策課	花いっぱいまち推進地区補助金	沿道等において花いっぱい運動を実施している団体に経費の一部を補助する。	-	60	90	補助団体数	2団体	2団体	3団体		A	花いっぱい運動を行う団体に對し、計画どおり補助を行い、花いっぱい運動を促進することができた。
	83	環境政策課	緑の保全・創造活動事業費補助金	地域の緑化等を行う団体に、経費の一部を補助する。	-	300	200	補助団体数	3団体	3団体	2団体		A	緑化活動を行う団体に對し、計画どおり補助を行い、美しいまちづくりを推進することができた。
	84	防災安全課	安全で安心なまちづくり推進事業	各区・自治会等を中心とした自主防災パトロール団体に對し、パトロール用資材の配布及び各種情報提供等を行い、活動を支援する。これらにより、地域コミュニティの醸成、市民の防犯意識の高揚にも繋げ、市全体が安心して暮らせる環境づくりを進める。	-	67,465	66,207	自主防災パトロール団体に所属している人数	6,500人	6,850人	6,500人		A	引き続き支援を行ってきたい。
	85	防災安全課	防災連携推進事業	・地域における自主防災組織の育成を図るために、自主防災組織の結成、訓練、資機材購入・修繕及び井戸の水質検査に對し、補助金を交付する。 ・マニュアルを作成するなど、自主防災組織の訓練を支援する。 ・自主防災組織間の意見交換の場として、連絡協議会を開催する。 これらにより、地域防災力の往生と地域コミュニティの育成を図る。 結成団体数：106団体、結成率96.2%(北坂戸団地自治会が4つの防災会を1つに統合したため前年度109団体から団体数減少) (令和6年4月1日現在)	-	18,482	27,543	災害時協力井戸の水質検査実施率	50%	36%	50%		B	協力井戸登録数・水質検査実施数ともに増加しているが、目標値には及ばなかったため。災害に備え、更なる災害時協力井戸の水質検査について周知していきたい。
	86	市民健康センター	健康づくり関連団体の支援	元気にし隊、食生活改善推進員協議会等の支援を通じ、健康づくり活動を広げ、活性化を図る	元気にし隊 食生活改善推進員協議会	元気にし隊：0 食改：35	元気にし隊：0 食改：35	元気にし隊：活動回数 食改：設定なし	元気にし隊：12回 食改：設定なし	元気にし隊：16回 食改：-	元気にし隊：12回 食改：設定なし		A	元気にし隊：健康フェアなど市民主催の健康に関するイベントに積極的に参加した。 食改：引き続き支援を行ってきたい。
	87	市民健康センター	産官学の健康づくり事業	城西大学・日本栄養大学・明海大学との「坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定」及びウエルシア薬局㈱・株式会社インレブ・ジャパン・株明治・明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づく健康づくり事業の推進	城西大学・日本栄養大学・明海大学 ウエルシア薬局㈱・株式会社インレブ・ジャパン・株明治・明治安田生命保険相互会社	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	産院プロジェクト推進事業(日本栄養大学)、食を通じた健康づくり応援店普及促進事業(城西大学、日本栄養大学、明海大学)等、連携協力協定に基づき、健康づくり事業の推進を行うことができた。
	88	市民健康センター・子ども支援課・交通対策課・高齢者福祉課・障害者福祉課	市民バスの特別乗車証の発行	出かけやすい環境づくりを支援するため、以下の対象者に市民バスの特別乗車証を発行 ・妊婦及び未就学児の保護者 ・運転免許証自主返納者 ・高齢者（70歳以上） ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳の交付を受けている方 ・指定難病医療または埼玉県が行う特定疾患医療の給付を受けている方	— 内線310(交通)	102(高齢者)特別乗車証印刷用紙代のみ(障害者)0(交通)0(子ども支援)33(健康センター)	33(健康センター)特別乗車証印刷用紙代のみ(障害者)0(子ども支援、交通、高齢者福祉)	運転免許証自主返納者特別乗車証申請件数(交通)設定なし(健康センター、子ども支援、障害者)	12件(交通)設定なし(高齢者、子ども支援、健康センター)	4件(交通)設定なし(健康センター、子ども、高齢者、障害者)	設定なし		D(交通) —(健康センター、子ども、交通、高齢者、障害者)	手帳交付時に特別乗車証の周知を図り、必要な方に対し特別乗車証を交付した。(障害者) 設定基準に達していないためDとしたが、年齢にかかわらず健康であれば70歳未満の方の免許返納の必要はないと考える。 しかしながら、70歳未満の免許の自主返納者については引き続き、特別乗車証を発行し、出かけやすい環境づくりに努める。(交通、高齢者) 未就学の保護者に対して特別乗車券を発行する事業であるため、評価指標を設定していない。(子ども支援) 希望者に対して特別乗車券を発行する事業であるため、評価指標を設定していない。(健康センター)
		市民健康センター	食を通じた健康づくり応援店普及促進事業（健康フェアの開催）	※食育推進計画NO.6と同じ										
		市民健康センター	ALK00マイレージ事業	※健康増進計画NO.8と同じ										
		維持管理課	公園の健康遊具の維持	※健康増進計画NO.1と同じ										

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市食育推進計画

【評価】 A: 十分達成できた(100%) B: 概ね達成できた(70%以上) C: やや不十分である(50%以上) D: 不十分である(50%未満) -: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等
--

調査

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する 令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針1 望ましい食の理解と実践	1	教育総務課	さかど菜酸ブレッドの給食導入	学校給食で「さかど菜酸ブレッド」を各学年1回ずつ導入する。	(株)サンメリー坂戸店	0	0	導入回数	全校年1回	全校年1回	なし		A	今年度も全校で実施をした。
	2	市民健康センター	菜酸プロジェクト推進事業 (食と健康のプランニングセミナー)	菜酸の摂取を促進し、血清菜酸値の上昇及び動脈硬化の危険因子である血清総コレステロール値の低下を目指す。 当該セミナーへの参加を通じて、市民の実践的な生活習慣改善の取組を促す。	日本栄養大学・ハウスウェルネスフーズ株式会社	1,976	1,160	菜酸の働きや必要性について、理解できた方の割合	90%以上	96%	90%以上		A	遺伝子検査など参加者からはたいへん好評をいただいた。引き続き、日本栄養大学と連携し、市民の菜酸摂取の促進を図りたい。
	3	市民健康センター	二十歳のつどいにおける菜酸精の配布	20歳の若い世代に、菜酸摂取の大切さを周知、啓発することで菜酸プロジェクトの更なる推進を図る。	-	760	626	設定なし	設定なし	-	設定なし		C	直接手渡したことができた会場では、効果的に配布できたが、机上設置による会場は期待どりの成果が得られなかった。
	4	市民健康センター	菜酸普及講演会	菜酸の普及啓発を行い、市民の生活習慣病及び認知症の予防を図る。	日本栄養大学	0	0	菜酸の働きや必要性について、理解できた方の割合	90%以上	95%	90%以上		A	講師のわかりやすい講演で参加者から好評であった。引き続き、日本栄養大学の協力をいただき、菜酸摂取の重要性について普及啓発を助めたい。
	5	市民健康センター	プロに学ぶ料理教室	食を通じた健康づくり応援店の協力により、菜酸が多く含まれる食材等を活用した料理教室の開催により菜酸の普及及び食育の推進を図る。	市民ボランティア「元氣にし隊」	50	60	習った料理を家庭で作ってみたい方の割合	90%以上	100%	95%以上		A	大人向けの料理教室は沖縄料理を、こども向けではお弁当づくりの教室を行い、参加者から好評をいただいた。
	6	市民健康センター	食を通じた健康づくり応援店普及促進事業 (菜酸フェアの開催)	市民の健康を地域主体で支える環境整備を目的に認定している「食を通じた健康づくり応援店」において、菜酸の普及啓発及び応援店の認知度の向上を図るため、11月頃イベントを実施する。	食を通じた健康づくり応援店	0	0	菜酸フェアの実施期間中、サービス対象のメニューや食品の提供数が増えたと思う店舗の割合	70%以上	37%	50%以上		C	菜酸フェアの認知が不足しているため、今後の周知方法を検討する必要がある。
	7	市民健康センター	食育に関する啓発活動	6月の食育月間。9月に食生活改善普及運動に合わせて、幅広い世代の方に目にしていただくよう食育に関する啓発活動を実施し、食育の推進を図る。 図書館において、食育に関する本を紹介してもらい、食育に関する興味・関心を促す。	図書館	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	図書館での食育展示(5/31～6/26)や市民課の行政情報への掲載(6/1～6/30)などを活用し、周知を行った。
	8	市民健康センター	今日の美味しいさかど飯	坂戸産の野菜等を使用した健康レシピ動画をYouTube坂戸市公式チャンネルにおいて配信する取組を実施することで、地産地消の推進、望ましい食習慣の形成等を図ることを目的とする。	日本栄養大学・坂戸市農産物生産組合	0	0	月に更新する動画の本数	4本以上	1.25本	1本程度		D	JAいるま野から提供いただく野菜の出荷状況や動画制作に携わる学生の負担等により、更新本数が減少している。事業開始から約3年となり、事業の継続や見直しについて検討する必要がある。
	9	市民健康センター	離乳食講習会	離乳を順調に進めていくために必要な知識を、栄養に加え、保健の講話と離乳食の作り方をまとめた動画鑑賞、離乳食の試食を通じて保護者の理解を深め、食を通じた支援を行う。	-	59	59	講話が「理解できた」「少し理解できた」と回答した者の割合	90%以上	95.6%	90%以上		A	事後アンケートの結果、概ね講習会の内容を「理解できた」「少し理解できた」と回答いただいた。
	10	市民健康センター	食改の伝達クッキング ①こどもクッキング ②骨元気クッキング	食生活改善推進員協議会が望ましい食生活の普及伝達を目的に、基礎的な栄養についての講話、調理実習を行い、食を通して健康増進及び生活習慣病の予防を図る。	-	40	40	参加者数	20人	26	20		A	引き続き、クッキングを実施し、食を通じて健康増進及び生活習慣病の予防を図る。
	11	教育センター	食育プログラム	日本栄養大学と協働し、児童生徒の健康並びに食生活の向上を目指したオリジナルの食育プログラム(授業)に取り組んでいる。	日本栄養大学	0	0	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		A	食育プログラムについては、全校で100%実施。今後も同様に実施予定。
	12	千代田児童センター	クッキングクラブ(小学生)	年8回実施、登録制のクラブ。毎回大学生が旬の食材を使ったメニューを作成し調理する。	日本栄養大学	0	0	食に関心をもち、楽しみながら調理できた児童の割合	90%以上	90%	90%以上		A	6名が参加し、食事への興味・関心を持つことができた。
	13	千代田児童センター	料理教室(小学生)	募集した12名が参加。こどもが喜ぶメニューを作成し、友だちと調理する。	-	設定なし	設定なし	友だちと楽しく参加する	設定なし	-	設定なし		-	R7、R8年度事業実施なしのため設定なしで回答
	14	三芳野児童センター	ジュニアクッキングクラブ(小学生)	登録制のクラブで、今年度は6回実施予定。女子日本栄養大学生が、毎回の食材を使った献立を作成、レシピに沿った調理を指導する。	日本栄養大学	0	0	食に関心をもち、楽しみながら調理できた児童の割合	90%以上	90%	90%以上		A	日本栄養大学生の指導の下、食への関心をもち、楽しみながらクラブ活動ができた。
	15	大家児童センター	ワクワククッキング	年3回実施の登録制のクラブ、日本栄養大学の学生がメニューを考案し、子供と一緒に調理をする。	日本栄養大学	21	21	食に関心をもち、楽しみながら調理できた児童の割合	90%以上	90%	90%以上		B	登録制クラブ募集に苦慮したが、3回の実施を学生講師と一緒にこどもたちが楽しく調理をすることができた。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市食育推進計画

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

調査

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する 令和7年度の実績の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針1 望ましい食の理解と実践	16	三芳野地域交流センター	夏休みランチクッキング	夏休みの昼食を小中学生同士で協力して作り、食事や料理の楽しさを学ぶ。	-	0	-	設定なし	—	-	-		-	27「夏休み子ども教室」(オリジナルマルちゃん焼そば作り体験)と統合したため、R7は実施せず。 R8も実施予定なし。
	17	勝呂地域交流センター	親子でお菓子作り(料理)教室	料理教室の開催を通じて、調理技術の習得の推進	-	0	14	参加者数	なし	-	8組16名		-	令和7年は開催せず。 引き続き開催及び参加募集をする。
	18	浅羽野地域交流センター	料理教室	健康で豊かな食生活に役立つ料理を学ぶ。	-	23	25	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし		A	そば打ち教室を実施。参加者数は定員に達し、好評だった。人気の講座のため今後も継続予定。
	19	千代田地域交流センター	子どもの食育講座	生活の基礎となる食について、正しい知識を学びながら参加者同士の交流を図る。	-	—	—	参加者数	—	—	—		-	R7から子ども向けの教室の内容を変更して実施することとした。
	20	千代田地域交流センター	地域学習講座「みそ作り講座」	本格的味噌作りを米麹作りからはじめて、食べ物の有難みを感じて学ぶ。	-	21	—	参加者数	10人	10人	—		A	R8は実施しないこととした(調理室の設備が古く、様々な支障が発生したため)
	21	入西地域交流センター	手作り味噌教室	手作り発酵食がブームの中、米麹作りから始める本格的味噌づくりを学ぶ	-	0	0	出席率	—	—	—		-	R7・R8ともに実施なし。 今後も実施予定なし(廃止)
	22	入西地域交流センター	草餅作り教室	よもぎの香り広がる草餅作りを通して、季節の和菓子作りを体験する。	-	14	0	出席率	90%以上	100%	—		A	参加希望が多いが、講師の都合により、令和8年度は実施しない。
	23	入西地域交流センター	手作りパン教室	初心者でも失敗しない簡単パン作りを学ぶ(ドライフルーツとくるみのライ麦パン)。	-	11	32	出席率	90%以上	100%	90%以上		A	参加希望が多いため、内容を変えて、今後も実施していきたい。
	24	入西地域交流センター	夏休み親子パン教室	夏休みを利用して、パン作りの体験教室を実施、交流と健全育成を図る。	-	11	0	出席率	90%以上	100%	—		A	参加希望が多いが、講師の都合により、令和8年度は実施しない。
	25	三芳野地域交流センター	「夏休み子ども教室」(オリジナルマルちゃん焼そば作り体験)	バーチャル工場見学等を通して、食事や料理の楽しさを学ぶ。	東洋水産(株)増玉工場	0	0	出席率	70%以上	100%以上	100%以上		A	目標達成できた。
基本方針2 食への感謝	26	城山保育園	(新・再開)食育教室(3・4・5歳)	食育ボランティアの学生による食育教室を通して、食べ物の栄養などに興味を持つ。(コロナの為実施できなかった事業の再開)	城西大学DHAサークル	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		D	連絡がとれなかったため
	27	市民健康センター	薬酸を多く使った食品開発	産学官で構成されたプロジェクトメンバーや市民ボランティア「元氣にし隊」が薬酸を使った商品の開発を行う。	日本栄養大学・平和食品工業・JAいるまの・東洋ライス・食生活改善推進員協議会等	45	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	坂戸市市制施行50周年とさかど薬酸プロジェクト開始20周年を記念した、さかど薬酸ほうれん草カレーを開発した。今後は坂戸市のオリジナル健康応援食品として、販路を拡大していきたい。
	28	清掃センター	ごみに関する懇談会	要望のあった区・自治会等を対象に地域の集会所等で懇談会を実施し、市民に市のごみ処理の現状や食品ロス削減を含めた減量化を啓発する。	-	0	0	設定なし	設定なし	10回	設定なし		A	要望のあった小学校や団体を対象に、市のごみ処理の現状や食品ロス削減を含めた減量化の啓発を行った。
	29	坂戸児童センター	おでかけ教室	筑波大付属高等学校にて、親子で生き物や栽培物等の自然とふれあいを楽しむ中、小動物の生命を感じたり、野菜や卵を収穫したりすることによって、それを食する大切さを知ってもらう。	筑波大付属坂戸高等学校	0	0	開催回数	2回	1回	1回		B	インフルエンザによる筑波大付属坂戸高等学校の学級閉鎖に伴い、1回中止となったため。
	30	千代田児童センター	野菜苗の生長観察	夏野菜の生長を観察する。	-	0	設定なし	夏野菜の生長、観察を体験し、食に興味を持った児童の割合	90%以上	90%	設定なし		A	来館者が夏野菜の生長を観察し、食に興味を持ってもらうことができた。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第3次坂戸市食育推進計画

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

調査

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する 令和7年度の実績 の評価	評価の理由・今後の方向性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針2 食への感謝の念の育成	31	東坂戸保育園	野菜の栽培とクッキング	野菜の苗を子どもたちが植え、成長を観察し収穫する。収穫した野菜を園で調理し、味わうことで食への関心を育む。	-	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	成長を観察し、大事に育てた野菜を使って自分たちで楽しく調理して食べることができた。苦手だった野菜も自分で育てることで生長に関心を持ち美味しく食べることができた。
	32	千代田保育園	野菜の栽培とクッキング	野菜の苗を植え成長を観察し、収穫を楽しむ。収穫した野菜は持ち帰り家庭で調理を楽しむ。園でも収穫した野菜を調理し、皆で味わうことで食への関心を高める。	-	0	0	野菜の生長に興味・関心を持つ観察する。	設定なし	-	設定なし		A	野菜の成長を全園児で観察することが出来、それぞれの年齢で食育に繋げることが出来た。枝豆、さつまいもは年長児が収穫し、クッキングを行って皆で味わうことが出来た。その他の野菜は各自持ち帰り、家庭で調理をしてもらい保護者とも共有できた。
	33	薬師保育園	野菜の栽培	夏野菜を育て、食に興味関心を持つ	-	0	0	野菜の生長に興味・関心を持つ観察する	設定なし	-	設定なし		A	年長児以外の園児においても野菜の生長を観察し、興味を持っていた。
	34	城山保育園	野菜の栽培とクッキング	野菜の苗を植え成長を観察し、収穫をする。野菜は家庭に持ち帰り家族で料理し味わうことで食への関心や感謝する気持ちを育む。	-	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	自分たちで苗を植え、水やりをして大事に育てた野菜を、家庭で料理してもらうことで、野菜の成長や味、調理の方法にも関心が持つことができた。また、保護者とともに育てた野菜でクッキングができ、おいしくいけた。
	35	千代田保育園	米作りとおにぎりづくり	稲の苗植え体験。成長の観察と収穫、稲取り体験をする。米の籾取り後、収穫したお米でおにぎり作りをする。	-	0	0	苗からお米が出来るまでの過程を知る。自分たちで収穫したお米の味を味わう。	設定なし	-	設定なし		A	土壌作りから苗植え、稲穂、お米が出来るまでを観察し収穫。米の皮を自分たちで剥き、おにぎりにして収穫したお米の味を味わうことが出来た。
	36	城山保育園	米作りとおにぎりづくり	種から苗を育て成長した苗を植え、成長を観察し収穫、稲取りを体験する。収穫したお米でおにぎりを作る。	-	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		A	種から育て、苗植えを体験し成長を楽しみながらできたお米でおにぎりを作る喜びを味わうことができた。
		市民健康センター	食育に関する啓発活動	※食育推進計画NO.7と同じ										
基本方針3 食の環境づくり	37	農業振興課	軽トラック市	農家が生産物を自ら作ることで、消費者ニーズに対応した農業生産を行うとともに坂戸市農畜産物の消費拡大を図る。	主催：坂戸市農畜物生産組合	0	0	開催回数	69回	69回	67回		A	計画回数を実施することができたため。
	38	教育総務課	地場産野菜等の給食導入	学校給食で、坂戸産のお米や地元で生産された野菜・卵などの地場産物を使用する。については、JA職員、栄養教諭、学校栄養職員、教育委員会担当職員等で打合せを行いながら、納品する野菜や時期を決定する。	JAいるま野農畜物直売所利用組合	0	0	平成26年度使用量(2381.2kg)からの増減	使用量増加	使用量増加	使用量増加		A	JAや市内農家等の協力を得て、使用量がH26年度より増加した。
	39	教育総務課	筑波大坂戸高校の生徒が栽培した農作物の給食導入	学校給食に筑波大坂戸高校の生徒が授業で栽培した農作物を使用する。	筑波大付属坂戸高校	0	0	使用校数	3校	3校	3校		A	給食への導入実績が増え、児童の農作物への関心を高めることができた。
	40	保育課	もぐもぐタイム (子育て家庭向け試食会)	保育園在園以外の子育て家庭を対象に、試食会を開催する。実際に試食をしてもらい、味付け等を体験する。	-	0	0	参加人数	40組	7組	20組		D	在園児とともに保育園の給食を食べることで、適正な食べるスピードと量が参考となったとの声が多く聞かれた。参加者が少なかった。今後は、開催時期の検討や試食会の周知をさらに行う。
	41	保育課	今日の美味しいさかど飯を活用し、地場産野菜を使用した給食の導入	保育園給食に地場産の農作物を使用し、「今日の美味しいさかど飯」を活用した、メニューを提供する。	日本米産大学JAいるま野農畜物直売所	50	50	提供回数	4回	3回	4回		B	地場産の農作物を使用し、「今日の美味しいさかど飯」を活用した子ども向けのメニューを提供した。
		市民健康センター	食を通じた健康づくり応援店普及促進事業（業談フェアの開催）	※食育推進計画NO.6と同じ										
		市民健康センター	今日の美味しいさかど飯	※食育推進計画NO.8と同じ										

【評価】
A: 十分達成できた(100%)
B: 概ね達成できた(70%以上)
C: やや不十分である(50%以上)
D: 不十分である(50%未満)
-: 評価指標設定なし、評価不能、未実施等

※赤字部分は、昨年度からの変更になります。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

第2次坂戸市歯科口腔保健推進計画

基本方針	No.	担当課・所	事業名	計画の実施内容	連携先	R7事業費 (概算) ※単位：千円	R8事業費 (概算) ※単位：千円	評価の指標	令和7年度		令和8年度		指標に対する 令和7年度の実 績の評価	評価の理由・今後の方向 性
									R7計画	R7実績	R8計画	R8実績		
基本方針1 歯科口腔保健推進のた めの啓発	1	市民健康センター	8020よい歯のコンクール	8020よい歯のコンクール表彰実施に係る歯科医師会への協力	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		-	今後も継続して事業へ協力する。
	2	市民健康センター 教育総務課 ※市民健康センター 回答	歯と口の健康フェア	フェア実施に係る関係団体への協力	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会 埼玉県歯科衛生士 会 坂戸技士会	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		-	今後も継続して事業へ協力する。
	3	市民健康センター	保育園児の歯科指導	3・4・5歳クラスに対しての講話と赤染（希望者）を使用した 歯科指導	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会 埼玉県歯科衛生士 会	106	106	在園児数に準ずる	14回(14園)	14回(14園) 616人	14回(14園)		A	計画通り各園に対し実施することが できた。今後も引き続き園と協力しな がら実施していく。
	4	市民健康センター	歯科医師の講話	歯や口の健康について、歯科医師が正しい知識を提供し、市民が 口腔衛生習慣を身につけ、自発的な実践を促す。	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会	40	40	参加者数	30人	19人	30人		C	参加者へコバトンALKOOマイレー ジの周知及びポイント付与を行い、集 客に努めた。今後も参加者数の増加 を図る。
	5	市民健康センター	乳幼児サロンでの歯科指導	児童センターへ歯科衛生士を派遣し、歯ブラシの仕方等歯に関 する情報提供や質問を受ける。	児童センター	8	8	設定なし	設定なし	-	設定なし		-	依頼に対し随時対応している。
基本方針2 歯科疾患の予防と口腔機能の維持・向上	6	高齢者福祉課	介護予防事業における歯科保健指導	埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施する「健康長寿歯科健 診」の結果を活用し、フレイルの兆候が疑われる者のフレイル 予防、改善に取り組む。	埼玉県後期高齢者 医療広域連合	3	3	参加人数	10人	9人	10人		B	概ね目標の人数に指導ができ、対象 者一人ひとりに丁寧な対応ができ た。
	7	教育総務課	学校歯科検診及び歯科保健指導の実施	小学校1年生に「わたしの歯っぴーファイル」を配布する。ま た、各校でカラーテスター（染め出し液）を使用しながら歯の みがき残し等を確認し、虫歯予防に役立てる。	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	144	144	配布数	750枚	750枚	708枚		A	各学校で適切な歯科保健指導をする ことができた。
	8	市民健康センター	成人歯科健康診査	う蝕・歯周疾患等の検査	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会	2336	2,900	受診率	5%	3%	5%		C	目標値には届かなかったため、引き 続き受診率の向上に努める。
		市民健康センター	1歳6か月児健診	※健康増進計画NO.46と同じ										
		市民健康センター	2歳児歯科健診	※健康増進計画NO.47と同じ										
		市民健康センター	3歳児健診	※健康増進計画NO.48と同じ										
	9	市民健康センター 健康保険課 （※市民健康セン ター回答）	健康長寿歯科検診への協力	広報での周知等	埼玉県健康長寿課	0	0	設定なし	設定なし	-	設定なし		-	6月号広報で市の成人歯科健康診 査と併せて周知を行った。
		高齢者福祉課	フレイル予防教室（運動・口腔・栄養 複合、個別相談）	※健康増進計画NO.3と同じ										
		市民健康センター	乳幼児健康相談	※健康増進計画NO.50と同じ										
		市民健康センター	乳幼児サロンでの歯科指導	※歯科口腔保健推進計画NO.5と同じ										
基本方針3 地域における歯科口 腔保健推進のための環境整備	10	高齢者福祉課	坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシス テム推進協議会	坂戸市、鶴ヶ島市、坂戸鶴ヶ島医師会の3者事務局で運営して おり、医療や介護、生活支援など、多岐にわたる課題の洗い出 しや課題解決に向けた体制の整備について検討する。	共催:坂戸市・ 鶴ヶ島市・(一社) 坂戸鶴ヶ島医師会	40	40	協議会開催数	2回	2回	2回		A	予定通り協議会を開催できた。今後 も多数の機関・団体が集まる当協議 会において、地域包括ケアシステム を推進していくための協議を進めて いく。
	11	高齢者福祉課	在宅医療・介護連携推進業務委託	坂戸鶴ヶ島医師会に委託し、在宅医療の連携拠点として、看護 師、社会福祉士による相談体制を整備して、市民などからの相 談に対応している。歯科に関する相談は坂戸・鶴ヶ島地区在宅 歯科医療支援窓口と連携を図り、対応している。	委託先:(一社)坂 戸鶴ヶ島医師会	6,943	6,997	在宅医療相談室相談 件数	110件	89件	115件		B	相談件数が目標値を下回ったため。 引き続き、窓口の周知を図っていく。
	12	市民健康センター	歯科口腔保健に関する支援体制の整備	歯科医師会と連携し健康寿命を延ばすために、在宅歯科医療の 充実、歯科口腔保健に関する支援体制の整備を図る。	坂戸鶴ヶ島歯科医 師会	650	1,820	在宅歯科医療可能歯 科医院数	23以上	23	23以上		A	今後も継続して補助を行っていく。

第3次坂戸市健康なまちづくり計画に係る事業

調書

新規事業

[illegible]